

多映像・高画質な多重化ディスプレイの開発

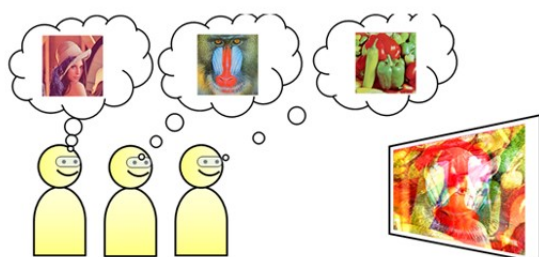
准教授・上瀧 剛

大学院先端科学研究部 工学系 情報電気工学科

▶ 研究内容

一つのスクリーンに複数の映像情報を重ねて投影して、それを特殊なメガネで覗くと、そのうちの一つの映像を見ることができます。応用として右目と左目で異なる映像を見せることで立体視ができます。

これは昔から3Dテレビで使われてきたアクティブシャッター技術ですが、私たちは、新たな映像圧縮技術と液晶シャッターコントロール技術を開発し、高画質化 ほかの映像が混ざるクロストーク現象が極めて少ない、および、最大映像程度 従来は映像を多重化することに成功しました。本技術はグラフィクス・ディスプレイ分野で世界的に有名な国際会議であるSIGGRAPH2020 Emerging technologiesで発表予定です。



1つのスクリーンで
液晶メガネを制御することで
複数の映像が見える

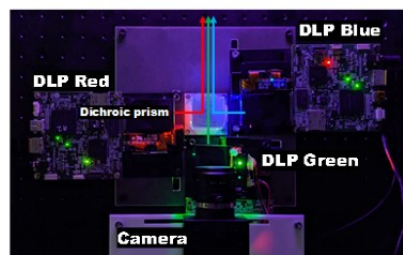
開発装置

他の映像が混ざるクロストークが少ない



従来技術

開発技術



▶ 提供できる技術

映像の多重化によるゲーム・会議システム プロジェクションマッピングなどの展示物

▶ 特許

特許 第6740530号 画像表示システム、画像表示方法及び透過装置

▶ キーワード

HCI 多重化ディスプレイ 映像圧縮 アクティブシャッター方式

《ご連絡先》 コーディネータ 安藤 咲乃 TEL FAX: mail:sa-ando@jimu.kumamoto-u.ac.jp